



「とちもう eye サポートセンター」始動から約1年！

2024年4月に「とちもう eye サポートセンター」が立ち上がってから早一年が経とうとしています。今年度は、「とちもう eye サポートセンター」を知っていただくための第一歩として、県内25市町の役所・役場や地域の拠点となる病院等へ直接出向き、本校の支援について説明させていただきました。少しずつですが「とちもう eye サポートセンター」が知られるようになってきており、特に成人者相談では、問い合わせや相談が大幅に増加しております。引き続き、見えない・見えにくいことでお困りの当事者の方や、ご家族等関係者の方々に対する相談支援を行っていきたいと思っております。

今回のたよりでは、今年度「とちもう eye サポートセンター」で行ってきた様々な取り組みについてご報告いたします♪

ぱんだサークル(育児学級)

第1回目は8月23日(金)に実施し4組の親子、第2回目は12月26日(木)に実施し、3組の親子の参加がありました。保護者の方々は、本校保護者から子育てについての体験談を聞いたり、アイマスクやシミュレーションレンズを装着しての視覚障害体験を行ったりしました。

子どもたちは手遊び歌や楽器遊びを楽しんだあと、友達と一緒にままごとやブランコ、ボールプール遊びを楽しみました♡



みんなでお集りの会♪



シミュレーションゴーグルとクローバーブック(拡大読書器)で観察🌸

サタデースクール

サタデースクールは地域の小中学校に通う児童生徒を対象に、8月24日(土)、12月14日(土)に実施しました。参加した児童生徒は、盲学校ならではの理科の実験や工作、サウンドテーブルテニスを体験したり、同じ障害種の友達と知り合えたりでき、とても楽しそうに過ごすことができていました!



栃木県立盲学校発祥の
サウンドテーブルテニス体験



段ボールと毛糸でクリスマスツリーの
飾りを作ったよ!

弱視特別支援学級等オンライン交流会

地域の学校に通学する小学生同士をオンラインでつなぐ交流会を3回行いました。毎回5~6校の参加があり、学校行事の紹介や学校生活の中でがんばっていることなどについて発表し合いながら交流を行いました。



~2024年度の支援について~

(2025年2月28日現在)

ぱんだ教室利用親子:7組

保育園(2園):4回

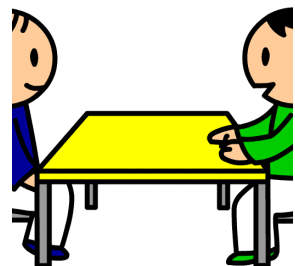
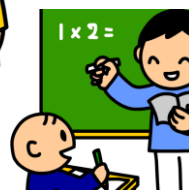
小学校(9校):18回

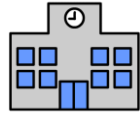
中学校(5校):8回

高等学校(1校):1回

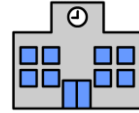
特別支援学校(2校):2回

成人者相談:12名





通級による指導



今年度から盲学校でも通級による指導がスタートしました。地域の学校で学ぶ見えにくさをもつ児童生徒を対象に、盲学校職員が在籍校に出向いて自立活動の指導を行います。今年度 10 月から小学生1名、11 月から中学生1名を対象に通級による指導を行っています。

これまでの主な学習内容は…

- ① 教育的視機能評価
- ② 各教科学習等における、本人の困り感についての聴き取り
- ③ 近用ルーペの活用（辞書やこども新聞を読む）
- ④ 拡大読書器の活用（コンパスで作図の際の目盛りの確認、楽譜の確認）
- ⑤ 単眼鏡の活用
- ⑥ 歩行について



などです。見えにくいことで、様々な困難を抱えながら学習に取り組んでいる児童生徒がいます。充実した学校生活を送ることができるよう、通級による指導を通して様々な力をつけられるような教育活動を進めていけたらと考えております。

各種研修会

地域で視覚に障害を有する幼児児童生徒を担当する職員の方々を対象に、弱視特別支援学級等担当者研修会や夏季研修会、弱視特別支援学級等担当者オンライン情報交換会を開催しました。視覚障害体験を通して子供たちの見えにくさを想像し、対象幼児児童生徒の実態に応じた支援方法を先生方と一緒に考えることなどができました。



視覚障害教育の基本について



シミュレーションゴーグルを装着しての似顔絵を描く体験



各教科学習における支援方法についてなど